

伊達市 おかいこ 用具 コレクションカード Vol.6

伊達市保原歴史文化資料館では、10月より伊達の蚕糸業を主とした展示に変わります。このコーナーでは、リニューアルに向けて国重要有形民俗文化財指定を受けた伊達市所蔵のおかいこ用具をカード形式でご紹介します。

- 【あそび方】①切り取って集めよう（眺めるだけで楽しい！）
②説明を読んで学ぼう（展示の予習になる！）
③じゃんけん（左上）や、おかいこ度（右下）で競おう！



おかいこ用具コレクションカード
No. 016

旧伏黒村の蚕種屋、佐藤與惣左衛門家に残された江戸時代の繭。明治時代に品評会へ出品する為に、3額の繭見本を作成した。中でも宝暦2(1752)年の繭は、日本に現存する最古級の繭といわれる。

おかいこ度

おかいこ用具コレクションカード
No. 017

旧梁川村の蚕種屋、中村佐平治家の寛政4(1871)年から昭和55(1980)年までの109年間にわたる繭見本45箱。桐箱入り。明治9(1876)年の明治天皇巡幸の際、天覧に供された繭見本も含まれている。

おかいこ度

おかいこ用具コレクションカード
No. 018

幕末頃に伊達地方の蚕種屋が正月に得意先などへ配ったと伝えられている錦絵のすごろく。養蚕作業などの36場面が描かれている。作者は旧梁川村の中井閑民。絵は江戸の浮世絵師一恵斎(落合)芳幾。

おかいこ度

伊達な 国際交流員の つれづれコラム vol.102



「迷信」 Superstitions

英訳版を
見る▶



最近、日本では夜に口笛を吹くことが良くないと言われていたり、くしを折ることや、お箸が食べ物にまっすぐ刺さること、そして「四」の数字が不吉だということなどは知っていました。その他にも知らない迷信がないか調べてみたところ、夜に爪を切ることが良くないという迷信を新たに知りました！

アメリカにもたくさんの迷信があります。たとえば、脚立の下をくぐると7年間不運なことが続くと言われていたり、建物の中で傘を開くのは縁起が悪いとされたりしています。有名なものだと、13日の金曜日にも不吉な日と考えられていますね。それから、黒猫や、割れた鏡なんていうものも、ちよつと不気味な雰囲気を感じさせることで知られています。

あなたは迷信を信じますか？私は悪い運を自分に引き寄せたくないのので、上記のようなことは避けるようにしています。もしかししたら、私は迷信深いのかもしれませんね。

(イボンヌ)

にじいろのだて (男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介)

『アサーティブ』… 自分の意見を無理に押し通すのではなく、相手の意見も尊重しながら、率直に対等に思っていることを話す姿勢のこと。

